

授業科目名	観光プロモーション演習	担当教員	高橋 伸佳 崔 光雄
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	演習		
開講年次	3 年 第 1 クォーター		
講義内容	マーケティング・ミックスの一つであるプロモーション。あくまでもプロモーションは単体で成立するものではなくマーケティングプロセスの一環であることを理解しておく必要がある。こうした前提に基づき、本演習では企業や行政、観光業界で実際取り組まれているマーケティングプロセス全般を学習した上で、新たな観光プロモーション手法を検討する講義とする。 講義においては、企業等の講師を大学に招聘し、観光プロモーション方策の立案を大学内にて演習形式で展開する。その中で、地域に根差した観光協会、DMO 等の役割を知り、新たなプロモーション方策を具体的に作成していく。		
到達目標	・観光協会、DMO 等の立場における観光プロモーション作成能力の修得を目指す。		
授業計画	演習期間：8 日間（設問、基調講義、演習指導、講評）で構成 ・1～2 日目：オリエンテーション、設問、基調講義、演習 学生自習（現地調査・課題分析） ・3～4 日目：演習、演習指導 学生自習（中間案作成） ・5～6 日目：演習、中間案提出、中間案に対する指導 学生自習（最終案作成） ・7～8 日目：演習、最終案発表会、意見交換、講評		
事前・事後学習	・授業開始後は、学生側の自習を必須とする。		
テキスト	・各回の授業において資料を配布する。		
参考文献	・グロービス経営大学院「改訂 4 版グロービス MBA マーケティング」ダイヤモンド社（2019） ・フィリップ・コトラー、ジョンボーエン・ジェームス・マーキンズ「コトラーのホスピタリティ&ツーリズムマーケティング（第 3 版）」、ピアソン・エデュケーション（2003） ・牧田幸裕「デジタルマーケティングの教科書」東洋経済新報社（2017）		
成績評価の基準	出席・授業参加態度（50%）、最終レポート（50%）		

履修上の注意 履修要件	・授業内容やテーマの詳細については、演習担当の講師が状況に応じて内容を決定する。 ・マーケティングプロセスを積み上げていく形で観光プロモーション方法を習得する演習となっているので、授業に欠席した際は補講等を受けること。
実践的教育	観光分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	